



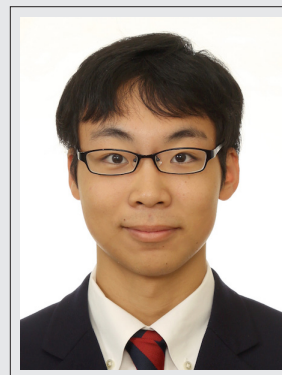
1

国際生が「第15回 日本の次世代リーダー養成塾」に参加!!

中 高一貫生徒会長の鬼頭英都君(5年2組・IBDP生)が、福岡県宗像市で開催された「日本の次世代リーダー養成塾」に参加しました。これは、(社)日本経済団体連合会の中西宏明会長を塾長に 日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した、高校生のための2週間のサマースクールで、今年で15回目となります。

今年は、日本人の高校生175人に加え、アジア5カ国(中国、マレーシア、モンゴル、タイ、韓国)から11人が加わり、186人の高校生が2週間寝食を共に学びました。鬼頭君は、一般公募枠60名に選ばれての参加となりました。

日本の将来を背負って立つ人材の育成を目指すこのサマースクールでは、マレーシア首相マハティール・モハマド氏、元国連事務次長明石康氏、医師・作家の鎌田實氏、お茶の水女子大学長室伏さきみ子氏など、20人余りの各界を代表する一流の講師が全国の高校生に将来の指針を与えます。そして、講義の後、学問のおもしろさを追求するとともに、リーダーとして必要な多面的な思考力や分析力、決断力を養うために、ディスカッションを積み重ねました。



▲鬼頭英都君(中高一貫・IBDP生)

また、初の試みとして日本人の高校生とアジアの高校生が2週間かけて議論するプロジェクト型プログラム「アジア・ハイスchool・サミット」がありました。「日本や世界の『未来地図』を描こう-高校生から小学生へのメッセージ」をテーマに、「環境」「戦争・紛争・平和」「働き方」「政治」の分野で起こりそうな問題を考え、どうしたら防げるか、解決できるかを話し合い、最終日には宗像市の小学生に授業をしました。

名古屋国際が目指す「世界と日本の未来を担う国際人」に一步近づく貴重な体験をした鬼頭英都君の成長が楽しみです。■



2

全国96進学校 海外名門大学合格実績 愛知県唯一の私立高校として 名古屋国際高校が掲載されました

「自分を『枠』にはめないこと それこそがグローバルだ。」
サンデー毎日(2018年8月5日号)に愛知県では、名古屋国際高校と明和高校の2校のみが掲載されました。

近年、全国の高等学校で大学選別に海外の大学も志望校に加わってきている傾向が見られます。名古屋国際においても、過去6年間連続して海外大学の進学実績があり、その合格者数は徐々に増加すると同時に、合格大学の難易度も上がってきています。国際バカロレア・ディプロマプログラムの導入も後押しして、志望校の選択肢として検討しやすくなったことや、米国の大学は一般的に学費が高いが、日本よりもはるかに奨学金制度が充実していることもあり、経済的な面はそれほど心配にならないという情報なども徐々に普及してきたことなどによるものと考えられます。今後名古屋国際の海外大学の合格実績に注目が集まります。■

サンデー毎日8月5日号の記事とは、世界ランキングの200位以内の大学への合格者数、それ以外の大学への合格者数と、参考になる日本の難関大学合格者数を一覧で見ることができる表を作成。各校へのアンケートなどを元に、今春の海外大学合格状況を掲載。対象校は、文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクール(SGH)とアソシエイト校、国際バカロレア認定校、今春の東京大学または京都大学が20名以上の学校と今春の海外大学合格者10人以上の学校で、全国96校の一覧表を作成。

Times Higher Education:THE
(タイムズハイヤーエデュケーション)とは



英米系のイギリスのタイムズが発行している高等教育情報誌であり、世界大学ランキングを毎年公表している。評価項目には外国教員の比率や外国人学生比率が含まれており、大学の国際性を重視した世界ランキング。■

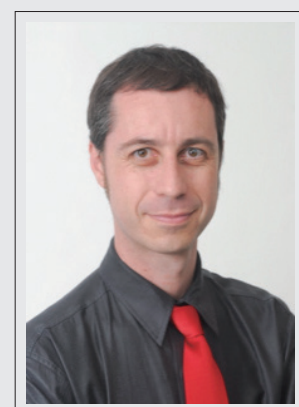
THE FRONTIER TIMES Report ③

国際理解講演会に クリス・グレン氏が来校されました!

6月30日(土)に名古屋国際中学校・高等学校主催の国際理解講演会を開催し、本年度はクリス・グレン氏が来校。全校生徒の前で、熱いメッセージを送りました。

6月30日(土)国際理解講演会のゲストとしてバスト・プレゼント・フューチャー代表取締役クリス・グレン氏をお招きいたしました。クリス氏は、オーストラリア出身で、ラジオDJとして活躍するほか、日本の魅力を語る外国人としてテレビにも多数出演され、趣味は、戦国時代の歴史研究、甲冑武具の研究、城めぐりなど多岐にわたるご活躍をされています。現在は、あいち観光戦略検討委員や名古屋観光文化交流特命大使など地域活性に向けた取り組みをしているクリス氏。今回「外国人から見た日本」という演題で国際理解講演を行いました。講演の中では、クリス氏が来日してから日本で出会った方々のお話やそこで感じた日本人の考え、そして、その後の人生においてより深く日本について知った自らの思いについて、時折折談を交えながら講演が進みました。そして、そうした自身の経験をもとに、名古屋国際中学校・高等学校の生徒に向けて、今後どのような努力をすべきか、どのような体験が必要かを教えてくださいました。講演後には、生徒からの質問に対して返答し、その明るく人柄と深い知性を感じることができました。また、帰りがけにも生徒達からの握手や写真撮影にも心よく対応してくれました。今回の講演会では、クリス氏の立ち居振る舞いや生徒たちとのコミュニケーションの取り方、なによりご自身の多様な経験からくる国際人としての資質など、生徒たちが未来の国際人として得たものはとても多かったようです。■

【クリス・グレン氏】ラジオDJ /あいち国際戦略検討委員、インバウンド観光アドバイザー、あいち観光戦略検討委員、三重県桑名市ブランド推進委員
関ヶ原グランドデザイン策定委員、名古屋観光文化交流特命大使、関ヶ原観光大使、オーストラリアnow親善大使



プロフィール/オーストラリア出身、名古屋在住。
1985年、ロータリー交換留学生として初来日。
札幌で1年過ごし、翌年帰国。
1992年に再来日し、93年、ZIP-FMミュージックナビゲーターとしてデビュー。
現在はZIP-FM「RADIO ORBIT」(毎週日曜10時~13時)など、ラジオDJとして活躍するほか、日本の魅力を語る外国人として、NHK「プラタモリ」NHK WORLD「Journeys in Japan」、テレビ朝日「ワイドスクランブル」などテレビ出演も多数。



発行 名古屋国際 中学校 高等学校
NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
所在地 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町1-1-16
発行月 年間4回
制作 学校法人栗本学園
名古屋国際中学校・高等学校
学内広報チーム
デザイン cluch on cluch Co.,Ltd.
企画協力 株式会社 イーブレイン

TIMES 設置配布協力先
名古屋国際中学校・高等学校事務局前/名古屋商科大学 地域活性化研究センター/名古屋商科大学 中央情報センター

広報紙「THE FRONTIER TIMES」に関するご意見・ご感想は ft@nihs.ed.jp までお送りください。本紙に掲載されている記事、画像など全てのコンテンツの著作権は名古屋国際中学校・高等学校に帰属します。私的利用以外の目的で複写・複製することはできません。
201808275000

THE FRONTIER TIMES

【フロンティア・タイムズ】



▲名古屋国際中学校・高等学校World Online Classroom (WOC)にてユネスコ本部(フランス・パリ)によるビデオカンファレンスを通じて環境問題をテーマに意見交換する国際生たち(中面特集)

[Sustainable Development Goals and CAS]

In the past month, the Japanese government announced its intention to make all passenger vehicles either electric or hybrid by 2050. The long-term goal is to reduce by 90% greenhouse gas emissions of passenger vehicles. This initiative aims to bring to fruition some of the UN Sustainable Development Goals (SDGs): making cities and human settlements safe and sustainable, taking urgent action to combat climate change and its impact, protecting and promoting sustainable use of terrestrial ecosystems, and so forth.

The SDGs was first enacted in 2015 and its initial agenda was to accomplish these goals by 2030, or at least to be making progress in these goals by the aforementioned date. There are 17 goals in total and they are listed as follows:

GOAL 1: No Poverty – eradicating extreme poverty by 2030
GOAL 2: Zero Hunger – end hunger and achieve food security and improved nutrition
GOAL 3: Good Health and Well-being – ensuring healthy lives and promoting well-being for all at

all ages
GOAL 4: Quality Education – ensure that all boys and girls acquire free primary and secondary education
GOAL 5: Gender Equality – empower women and girls everywhere, ending all discrimination
GOAL 6: Clean Water and Sanitation – ensure universal access to safe and affordable drinking water for all
GOAL 7: Affordable and Clean Energy – ensure universal access to affordable and reliable modern energy services
GOAL 8: Decent Work and Economic Growth – promote economic growth and decent work for all
GOAL 9: Industry, Innovation and Infrastructure – build resilient infrastructure and foster innovation
GOAL 10: Reduced Inequality – reduce inequalities within and among countries
GOAL 11: Sustainable Cities and Communities – make cities and human settlements safe, resilient and sustainable
GOAL 12: Responsible Consumption and Production – sustainable management and efficient use of natural resources
GOAL 13: Climate Action – policies and programs

to combat climate change
GOAL 14: Life Below Water – conserve and sustainably use oceans and marine resources for sustainable development
GOAL 15: Life on Land – promote sustainable use of terrestrial ecosystems
GOAL 16: Peace and Justice Strong Institutions – provide access to justice for all
GOAL 17: Partnerships to achieve the Goal – strengthening partnerships across countries to achieve these goals.

Nagoya International Junior & Senior High School (NIHS) also hopes to join forces in the effort of promoting SDGs for the 21st century. One of the ways that can be achieved is through the IB CAS Program where some of the learning objectives fit in very well with the UN Sustainable Development Goals. For example, one of the CAS learning objectives states that students should “demonstrate engagement with issues of global significance,” and that could well involve action promoting and enacting the SDGs, albeit in small scale. This way, NIHS will also be contributing to the fulfillment of these noble goals. ■